

R4年度 クォーレ彩が丘教室 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			保護者評価より85%以上の方からスペースは十分との評価を頂いています。決して広いとは言えませんが、運動療育プログラムは十分行えるスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			人員を増やすことにより子供が誰の指示を聞いてよいのかわからなくなるデメリットがあります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			教室入り口に階段が数段ありますが、事業所内部は完全にフラットになっており、段差などはありません。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			子供の療育目標はもちろんのことだが、教室の年間療育目標も定めており、PDCAサイクルを常に行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からのご意見を頂ける媒体として有意義に活用させていただいている。 ご意見をもとに改善できる点は随時改善を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開中
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	○		時折、外部から小学校の先生、幼稚園の先生、大学で発達障害について研究されている客員教授の先生などが視察に来られ、ご感想等を改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			導入時研修、週3回の模擬授業、2か月に一回の定期研修、県外への研修などを行う予定ではあったがコロナの関係で最低限のことしかできない状態が続いている
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者評価より90%以上の方からサービス計画に満足いただけている結果となりました。 当教室では客観的視点を持ち課題を見つけ、科学的根拠に基づきどう改善するのかをサービス計画に反映することが本当の意味での計画と思っております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			障害特性の知識をもって行っている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			教材課、運動課をつくりプログラムの構成、進め方について研究し各教室へ提案、改善を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			保護者評価より80%以上の方にプログラムが工夫されているとの評価を頂きました。 療育とは子供の困り感を改善するものです。 常にブラッシュアップが必要であると考えて行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			年間を通しての療育目標があり、当然のことながら平日、休日、長期休暇を考慮し年間カリキュラムが組まれている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			クォーレでは集団活動ができ、初めてそこから本当の療育が始まると思っている。 個別も集団に入るための過程として行っている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			療育内容を統一し、また、事故のなきよう支援するためには必ずミーティングは必要。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後のフィードバックは子供の療育にとってはもちろんのことだが、職員のスキルを向上させるためにも欠かせないものである。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の支援の様子を客観的に記録に残すことで初めて支援目標が作れると思っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			見直しは方向修正が入れば常に行うものとしている。基本は半年に一度立てた目標がどうだったかを検証し、次の目標を立てる。半年に一度保護者との個別面談も行う。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管もしくは管理者以外の出席はしていない
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			○	学校側の個人情報の問題、防犯対策のためほぼ連携が取れない状況。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、対象の方の利用がないので体制作りは行っていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	個人情報に関することなのでこちらから積極的には聞き取ることはしていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在、そのようなケースがないため行っていない。今後必要があれば行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			今後、大学の研究機関及び小児科のドクターと連携をとることを計画している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	当教室では確立したプログラム提供を行っているため、このような機会は検討しておりません。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		時間の都合が合わず参加できていないので、時間の折り合いがつけば積極的に参加していく
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者評価より93%の方からできていたのご評価を頂きました。いつも丁寧に説明して下さるので、小さな変化にも気づけていますやいつも子どもの状況をしっかり伝えてもらっているので、とても相談がしやすいですとお言葉をいただいています。日々のことは送迎時やお迎えに来ていただいたときに多少のお話をさせていただいています。詳しくは年二回の個別面談時にさせていただきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			令和2年度より、保護者相談やカウンセリングを専門に行っていただける方と連携して、希望者には随時支援を行っている。
保護者	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			保護者評価より90%以上の方からできていたのご評価を頂きました。契約時や質問があった際には、必ず管理者から丁寧に説明をする体制を作っています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			令和2年度より、保護者相談やカウンセリングを専門に行っていただける方と連携して、希望者には随時支援を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者様の多くがそのようなニーズがないので予定していません。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
各 へ の 説 明 責 任 等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			万が一このようなことがあった場合は迅速に丁寧に対応するよう心掛けています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一度会報誌を配布し、プログラムの意味や効果、その月の予定など周知していただけるようにしています
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			保護者評価より95%の方から個人情報を注意しているとのこと評価をいただきました。個人情報は特に留意しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者評価より95%の方から配慮されているとのこと評価をいただきました。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在そのような機会はない。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者評価より周知が不十分と判断しました。今後は契約時はもちろんのこと、会報誌やHPを活用し周知に力を入れてまいります。職員は全員周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に一度必ず行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修だけではなく、複数の目で防止している
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	事例なし。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		アレルギーに関しては保護者に確認している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ミーティング等で共有している。